

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月 7日更新

事務事業名		固定資産評価審査委員会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	吉村 幸一
	施策	2	行政改革の推進			所属課	総務課	担当者名	原田 奈利
	施策の柱	9	評価機能の確保			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11184	根拠法令	地方自治法、地方税法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・固定資産課税台帳に登録された価格について、不服の申し出があった場合に、委員会の審査に付し、決定を得る事業である。 ・納税者の税に対する意識が高まってきていることから、今後、審査申出が増加してくる可能性がある。 委員は4名で構成され任期は3年となっている。
【業務の流れ】	固定資産評価審査委員会への審査の申出(納税者) ②形式審査(審査委員会) ③受理した場合、市長へ通知(審査委員会) ④弁明書の提出(市長) ⑤反論書の提出(納税者) ⑥書面審理(審査委員会) ⑦審査の決定(審査委員会) ⑧市長及び納税者に決定の通知(審査委員会)
【主な予算費目】	報酬・費用弁償
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	固定資産評価審査委員会の開催(1回)及び運営研修会(大分市)に参加した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 ア:委員会等開催数 イ:審査申出をした人	予算の主な増減の理由 本年度は、運営研修会が熊本市で開催されることに伴い、委員(4人)の費用弁償の減及び職員(1人)の旅費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	審査会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア:審査会委員数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な判断を下す	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)件 ア:審査の決定件数 イ:
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
審査の決定件数(容認・棄却・却下)により、固定資産課税台帳に登録された価格が公平・公正な価格になっているか判断できる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
①活動指標	ア 回		1	1	2	2	2	2	2	2	
	イ 人		0	0	0	0	0	0	0	0	
②対象指標	ア 人		4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ										
③成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	124	110	135	110	58	135	135	135
		(A)事業費計	千円	124	110	135	110	58	135	135	135
		(A)のうち指定経費	千円	11	15	30	15	30	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	0	1	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	40	50	0	30	0	0	0	0		
(B)人件費計	千円	158	197	0	118	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	282	307	135	228	58	135	135	135		

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 固定資産評価の申し立ては可能性がある。申し立てがあった場合は、報償費及び費用弁償の補正が必要になる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な事務処理が行われている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似のものがないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会開催のための費用弁償・報酬であり、審査申出件数に左右される
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会開催のための費用弁償・報酬であり、審査申出件数に左右される
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地方自治法、地方税法の規定によるものであり、受益者負担を求めるものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に則った事務事業なので、役割分担できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

令和元年度については、審査申出はなかったため、審査を伴う会議開催はしなかった。
通常の会議及び研修については各1回開催した

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						